

## BS 1.6UL と TS 1.6UL の特性の比較 - 透析中の凝固能より -

第 64 回 大阪透析研究会

丸山禎之・赤木尚子・宮田奈々恵・福永満月子・河井里枝・岡本真由美・和田 茂・佐々木敏作(佐々木内科クリニック 腎センター)

【目的】T 社製のポリスホン膜 TS UL(TS)と従来型の BS UL(BS)の血液凝固能について比較検討を行った。

【方法】ヘパリン非投与による透析開始時と20分時の透析器入口と出口の ACT と TAT の変化。

通常透析における ACT と TAT の経時変化。

水道水を充填した透析器に浄化水を通水し、その排水中の微粒子数を測定

【結果】無ヘパリン透析における BS の透析器出口の ACT は開始時に比し有意に短縮し、TAT は有意に上昇した。また透析中の TAT の推移では 240 分時の TS において上昇が抑制された。TS は BS に比し、充填した水道水の置換時間は短時間であった。

【結論】中空糸内の血液流動性が向上した TS は従来タイプより凝固能に優れる透析器であると思われた。